

平成 30 年 1 月 19 日

【照会先】

政策統括官付 労使関係担当参事官室

参事官 森川 善樹

室長補佐 石崎 琢也

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7766)

(直通電話) 03(3502)6735

報道関係者 各位

平成 29 年 民間主要企業年末一時金妥結状況を公表します ～平均妥結額は 830,625 円で、対前年比は 5 年連続のプラス～

厚生労働省では、労使交渉の実情を把握するため、民間主要企業の年末一時金妥結状況を毎年、集計しています。

このたび、平成 29 年の集計結果を以下のとおりまとめましたので、お知らせします。

【集計対象】

妥結額などを把握できた、資本金 10 億円以上かつ従業員 1,000 人以上の労働組合のある企業 359 社。

【集計結果のポイント】

- 平均妥結額は 830,625 円で、昨年に引き続き平成 20 年以来 9 年ぶりの高水準。前年に比べ 16 円 (0.00%) の増。対前年比は 5 年連続のプラス。

(第 1 表、第 2 表)

- 平均要求額は、把握できた 256 社でみると 863,259 円で、前年に比べ 6,232 円の減。

(第 2 表)

第1表 平成29年民間主要企業年末一時金妥結状況（加重平均）

産 業	集 計 企業数	平均 年齢	妥 結 額	前年 企業数	前年 妥結額	対前年比	前年と同一企業による集計の場合			
							企業数	妥結額	前年妥結額	対前年比
	社	歳	円	社	円	%	社	円	円	%
1 建 設	25	36.2	882,161	25	828,730	6.45	24	881,079	824,977	6.80
2 食料品・たばこ	32	38.4	923,352	26	859,339	7.45	22	970,962	921,550	5.36
3 織 維	10	38.8	784,721	11	763,199	2.82	10	784,721	759,791	3.28
4 紙・パルプ	6	40.3	689,816	5	697,618	▲ 1.12	5	689,516	697,618	▲ 1.16
5 化 学	38	38.0	859,637	28	796,425	7.94	24	819,138	802,218	2.11
6 ゴム製品	6	38.4	794,059	6	810,542	▲ 2.03	6	794,059	810,542	▲ 2.03
7 窯 業	6	39.1	931,700	6	933,547	▲ 0.20	6	931,700	933,547	▲ 0.20
8 鉄 鋼	9	39.2	649,839	10	671,585	▲ 3.24	9	649,839	671,012	▲ 3.16
9 非鉄金属	12	40.4	725,053	12	707,656	2.46	11	724,105	709,080	2.12
10 機 械	26	38.4	819,003	24	800,718	2.28	23	823,114	803,548	2.44
11 電 気 機 器	37	40.6	841,406	34	851,027	▲ 1.13	33	840,293	851,201	▲ 1.28
12 造 船	8	35.9	803,228	8	855,541	▲ 6.11	8	803,228	855,541	▲ 6.11
13 精 密 機 器	6	39.1	848,865	6	843,145	0.68	6	848,865	843,145	0.68
14 自 動 車	54	39.0	933,644	50	941,920	▲ 0.88	49	933,673	942,691	▲ 0.96
15 その他製造	10	39.1	642,909	10	645,228	▲ 0.36	9	639,417	643,675	▲ 0.66
16 電力・ガス	7	39.6	719,117	5	697,651	3.08	5	718,365	697,651	2.97
17 情 報 通 信	7	40.0	769,088	7	775,347	▲ 0.81	7	769,088	775,347	▲ 0.81
18 運 輸	16	40.1	864,845	17	864,073	0.09	16	864,845	864,126	0.08
19 卸・小売	32	37.0	580,778	33	582,849	▲ 0.36	27	569,460	564,251	0.92
20 金 融	5	—	692,250	5	693,644	▲ 0.20	5	692,250	693,644	▲ 0.20
21 サ ー ビ ス	7	38.2	614,166	8	653,772	▲ 6.06	5	658,078	672,045	▲ 2.08
平 均	359	39.2	830,625	336	830,609	0.00	310	830,437	836,924	▲ 0.78

(注)

1. 集計対象企業は、妥結額などを把握できた、資本金10億円以上かつ従業員1,000人以上の労働組合のある企業359社である。なお、数値は、各企業の組合員数による加重平均である。
2. 妥結額は、原則として平均方式を用いたが、一部に年齢ポイント（30歳、35歳など）での妥結額を含んでいる。

第2表 年末一時金妥結状況の推移

年	要求額	妥結額	妥結額の対前年比	
			同一企業	
昭和	円	円	%	%
45	190,008	160,202	19.2	19.2
46	208,422	168,511	5.2	5.2
47	238,196	196,388	16.5	16.5
48	321,799	279,569	42.4	42.4
49	453,913	352,470	26.1	27.4
50	429,671	334,698	▲ 5.0	▲ 5.0
51	449,587	366,318	9.4	10.5
52	457,104	389,455	6.3	6.5
53	485,686	422,882	8.6	5.5
54	534,120	465,793	10.1	10.3
55	537,309	482,672	3.6	8.7
56	561,962	515,705	6.8	7.2
57	585,545	533,109	3.4	3.2
58	594,111	547,257	2.7	2.7
59	623,675	575,577	5.2	5.2
60	644,636	600,594	4.3	4.4
61	642,507	609,853	1.5	1.5
62	665,098	619,374	1.6	2.5
63	733,644	664,029	7.2	6.7

年	要求額	妥結額	妥結額の対前年比	
			同一企業	
平成	円	円	%	%
元	777,275	720,540	8.5	8.5
2	779,661	765,542	6.2	6.8
3	795,687	794,011	3.7	3.6
4	846,686	796,447	0.3	0.2
5	817,570	786,656	▲ 1.2	▲ 0.3
6	778,783	796,035	1.2	0.1
7	807,310	798,848	0.4	1.9
8	845,027	819,667	2.6	2.8
9	853,476	848,575	3.5	2.8
10	805,457	833,801	▲ 1.74	▲ 1.83
11	863,548	801,235	▲ 3.91	▲ 4.40
12	787,827	799,232	▲ 0.25	0.76
13	860,026	812,934	1.71	1.76
14	822,335	755,551	▲ 7.06	▲ 5.88
15	771,296	771,540	2.12	1.97
16	892,483	811,082	5.13	3.87
17	886,394	840,516	3.63	5.39
18	864,956	841,854	0.16	2.53
19	880,719	845,119	0.39	1.47
20	855,692	831,813	▲ 1.57	▲ 0.63
21	809,276	726,933	▲ 12.61	▲ 12.64
22	765,876	733,935	0.96	0.68
23	793,979	761,294	3.73	3.64
24	798,439	739,295	▲ 2.89	▲ 2.26
25	812,465	761,364	2.99	1.81
26	844,371	800,638	5.16	6.02
27	884,943	830,434	3.72	3.08
28	869,491	830,609	0.02	0.71
29	863,259	830,625	0.00	▲ 0.78

(注)

- 平成15年までの集計対象は、原則として、東証又は大証1部上場企業のうち、資本金20億円以上かつ従業員数1,000人以上の労働組合がある企業である（昭和54年以前は単純平均、昭和55年以降は加重平均）。
平成16年以降の集計対象は、原則として、資本金10億円以上かつ従業員1,000人以上の労働組合がある企業である（加重平均）。
- 要求額は、額が把握できた企業（平成29年は256社）の平均額である。
- 対前年比は、本年の妥結額と前年の妥結額を単純比較した値と、集計対象企業のうち前年と比較できる同一企業についての値を表示した。

第3表 妥結時期別企業数

妥結時期	平成29年				平成28年			
	妥結企業数 社	妥結率 %	累計数 社	累計率 %	妥結企業数 社	妥結率 %	累計数 社	累計率 %
9月末まで	240	78.2	240	78.2	210	75.5	210	75.5
10月	1	0.3	241	78.5	4	1.4	214	77.0
11月	66	21.5	307	100.0	62	22.3	276	99.3
12月	0	0.0	307	100.0	2	0.7	278	100.0
1月以降	0	0.0	307	100.0	0	0.0	278	100.0
合計	307	100.0	307	100.0	278	100.0	278	100.0

(注)

1. 妥結企業数は、妥結時期を把握できた企業のみを計上しているため、第1表の集計企業数とは一致しない。
2. 小数点第2位以下を四捨五入により計算している。

第4表 一時金の年間決定実施状況の推移

年	A 集計対象 企業数	B 年間決定企業数					
		計 (B/A) 社 %	C夏冬型	C/B %	D冬夏型	D/B %	
昭和	社	社 %					
49	275	89 (32.4)	35	39.3	52	58.4	
50	271	101 (37.3)	49	48.5	47	46.5	
51	273	125 (45.8)	71	56.8	51	40.8	
52	279	132 (47.3)	81	61.4	49	37.1	
53	281	134 (47.7)	81	60.4	50	37.3	
54	283	146 (51.6)	87	59.6	54	37.0	
55	287	158 (55.1)	93	58.9	58	36.7	
56	287	160 (55.7)	97	60.6	56	35.0	
57	288	166 (57.6)	104	62.7	58	34.9	
58	288	165 (57.3)	104	63.0	58	35.2	
59	287	169 (58.9)	105	62.1	58	34.3	
60	288	182 (63.2)	112	61.5	61	33.5	
61	287	170 (59.2)	102	60.0	61	35.9	
62	285	174 (61.1)	111	63.8	56	32.2	
63	296	189 (63.9)	122	64.6	60	31.7	
平成	元						
2	296	195 (65.9)	127	65.1	63	32.3	
3	300	203 (67.7)	138	68.0	62	30.5	
4	297	203 (68.4)	137	67.5	63	31.0	
5	302	207 (68.5)	145	70.0	60	29.0	
6	298	213 (71.5)	153	71.8	58	27.2	
7	291	213 (73.2)	153	71.8	58	27.2	
8	291	219 (75.3)	160	73.1	56	25.6	
9	289	213 (73.7)	164	77.0	49	23.0	
10	284	213 (75.0)	164	77.0	48	22.5	
11	288	191 (66.3)	184	96.3	7	3.7	
12	280	219 (78.2)	211	96.3	4	1.8	
13	284	209 (73.6)	204	97.6	2	1.0	
14	280	208 (74.3)	205	98.6	1	0.5	
15	264	195 (73.9)	189	96.9	3	1.5	
16	241	182 (75.5)	177	97.3	3	1.6	
17	351	274 (78.1)	259	94.5	8	2.9	
18	342	292 (85.4)	284	97.3	6	2.1	
19	378	310 (82.0)	310	100.0	0	—	
20	354	261 (73.7)	254	97.3	5	1.9	
21	352	259 (73.6)	258	99.6	1	0.4	
22	323	256 (79.3)	250	97.7	6	2.3	
23	353	268 (75.9)	261	97.4	7	2.6	
24	349	269 (77.1)	260	96.7	9	3.3	
25	354	281 (79.4)	274	97.5	6	2.1	
26	347	216 (62.2)	212	98.1	3	1.4	
27	339	211 (62.2)	207	98.1	4	1.9	
28	337	215 (63.8)	212	98.6	3	1.4	
29	336	222 (66.1)	218	98.2	4	1.8	
30	359	261 (72.7)	255	97.7	6	2.3	

(注)

1. 「C夏冬型」は、春闘時又は夏季闘争時に夏季一時金及び年末一時金をあわせて決定する方式。
2. 「D冬夏型」は、秋季闘争時に年末一時金及び翌年の夏季一時金をあわせて決定する方式。
3. 年間決定企業数計には、2年以上の一時金をあわせて決定している企業など、夏冬型又は冬夏型以外の決定方式の企業が含まれる。
4. 集計対象企業数359社と、年間決定企業数261社の差の内訳は、各期型が43社、業績連動方式が54社、不明が1社となっている。